

# 仙台市議会 市民ファースト仙台 市政活動報告

2019年  
春号

編集発行人：仙台市議会議員(泉区) 柳橋 邦彦

## ① 新年度予算を決める定例会が終了しました

2月7日から3月12日まで「予算議会」と称される今年の第一回定例会が開かれました。一般会計5,563億円、事業会計2,360億円、特別会計3,170億円、合計1兆1093億円の新年度総額は全議員が出席する予算委員会に於いて詳細にわたって審査されました。同時に人事案件や条例案件も賛否を問われます。因みに予算委員会は9日間、総括質疑は2日間の長丁場となります。最終日には「いじめ条例」と「電力会社への過剰支払」についての附帯意見が提出されました。市政執行をより厳密に行うようにとの議会からのいわば警告です。中身としては、予算修正の事態に迫る案件となりました。

## ② 会派「市民ファースト仙台」の代表質疑

一般質問は市政万般にわたり何でも可の質問が行えますが、質疑は提出された範囲内の案件に対して交渉会派から各一名の代表者が選ばれ質疑を行います。市政の重要課題になりますので当局は最も緊張します。今回我々「市民ファースト仙台」は若林区選出の「木村勝好」議員が質疑に立ちました。内容は以下の通りです。

- ① 郡市長初提出の予算に対する自己評価について
- ② いじめ防止条例について
- ③ 市立小中高校へのエアコン設置について
- ④ 災害救助法改正に対応した救助実施市の指定について
- ⑤ 本市バス事業の今後のあり方について
- ⑥ 音楽ホールの建設について
- ⑦ 仙台城跡保存活用について
- ⑧ 消費税の10%引き上げに関して
- ⑨ 深刻化する「ひきこもり」への対応について
- ⑩ 経済成長戦略2023をはじめとする新たな経済政策について



会派代表による予算総括質疑

### ③ 総括質疑 (会派代表 柳橋くにひこ)

議会の日程は、先ず代表質疑、次に一般質問、そして常任委員会さらに予算等調査特別委員会と続きます。その最終部分で2日間の予算総括質疑が行われ、今回は私「柳橋くにひこ」が総括致しました。内容は以下の通りです。

- ① 経済活性化と観光交流ふたつのプランについて
- ② 経済活性化は5年、観光交流は3年の年限で異なる理由
- ③ 「地域リーディング企業への徹底的集中支援」の内容について
- ④ 「地産地消」を「地消地産」とした理由と前の相違点は何か
- ⑤ Society(ソサエティ)5.0/X-TECH/イノベーション都市・仙台とは一体何か  
この言葉、市民はこれを理解出来るだろうか
- ⑥ 起業・創業日本一はその後どうなるのか
- ⑦ 次世代放射光施設はあと5年かかるが、その間の準備の内容は
- ⑧ 5年後に市内中小企業の黒字化50%超とした理由とその決意
- ⑨ 1000本の「日本一の体験プログラム創出」の中身はなにか
- ⑩ 音楽ホールは純粋に音楽性の高い専用ホールを目指すべきだが
- ⑪ 「市役所経営プラン」とは何か
- ⑫ 「都心再構築プロジェクト」「定禅寺通り活性化」の中味が見えないが、具体的にはどうするのか
- ⑬ 市長は外部から市役所に入った方だが、何をどう変化させようとしているのか。現場主義と言っているが、それによってどのような方向性が見えたのか。本庁舎新築、泉区役所新築、音楽ホール新築と大盤振る舞い過ぎると思うが、財政的視点から切り込むべきところは外部から来た改革者としてしっかり切り込み、見つめ直す必要があるのではないか。都市経営者として市長の所見を伺う

総じて具体性が乏しく外殻だけや掛け声だけの目立つ内容の予算と伺える。市長は市長部局との乖離についてもっと間を詰める必要がある。今議会でも資料の訂正や数字の読み違い、又、答弁漏れや市ガス民営化に対する唐突な提案等、不適正不的確な提案や答弁が横行した。このことを今後どう仕末して行くのかが正直求められることになるだろうことを予想させる脇の甘い第一回定例会であり、議会と当局との信頼というものが損なわれた面があったと総括せざるを得ない。

## 相談ごと・ご意見などをお寄せ願います。

お名前

〒 -

ご住所

電話番号